

令和7年6月

卓球部顧問・指導者の皆様へ

高校3年生卓球部員のみなさんへ

東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長

東京都立野津田高等学校 平 雅行

大会参加者へのお礼

みなさんこんにちは。東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部委員長、東京都立野津田高等学校の平雅行です。

お陰をもちまして、4月から6月の3箇月間にわたり、東京都春季卓球大会、東京都高等学校総合体育大会を開催することができましたことに対し、感謝申し上げます。

多くの高校3年生の卓球部員は東京都高等学校総合体育大会が高校生活最後の大会になったかと思います。今から5年前、高校3年生が中学1年生の頃、コロナ禍での大変な中学校生活のスタートだったかと思いますが高校生活はどうだったでしょうか。

昨年度は予定していた大会を全て開催することができましたが、第1ラウンドでは保護者の方や学校関係者、OB・OGの方の入場を制限しました。しかし高校3年生が最後のシーズンとなった今年度の大会では、大会会場校の先生方のご理解ご協力もあり、入場制限を設けずに開催することができました。各大会では、多くの方に応援に来ていただき例年以上に盛り上がった大会になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

この3箇月間、特に高校3年生のみなさんは持てる力を存分に発揮され、思い出に残る大会になったのではないかと考えております。そして、各会場では多くの先生方や高校生の方のみなさん、特に高校3年生から感謝の言葉をいただきました。ありがとうございます。

卓球部顧問・指導者の皆様におかれましては、僭越ながら、これまで卓球に対して一所懸命に取り組んでこられた生徒に対し、今後も活力のある高校生活を過ごすことができますようご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、『流汗悟道（りゅうかんどう）』という言葉、3年生の卓球部員のみなさんにお送りします。この言葉は、「人間は汗を流して初めて何かがわかってくるのであり、多くの人にお世話になっていること、助けを受けていることなど自ら汗を流して体験しなければ何もわからず、怠惰では人の心やその活動を理解できないということ、真実は汗の中にあり、流した汗は嘘をつかず、ひたすら汗を流して努力を続ければどんな夢や目標も実現できる。」という意味です。卓球に対して汗を流して真剣に取り組んだことは財産です。みなさんがこれから大いに活躍されることを願い、この言葉を紹介させていただきました。今後のご健闘をお祈りいたします。